

一年を振り返る 学校生活・学校行事

秋があっという間に過ぎ去り、ここ数日は冷え込みも厳しく、北国からは雪の便りも聞かれる季節となりました。北国育ちの私ですが、寒さが身にしみる今日この頃です。温暖な千葉に住んで38年になり、すっかり千葉の寒さに慣れてしまったようです。

★心に残る思い出のワンシーン

4月から令和5年度を振り返ってみました。4月の入学式、5月の運動会、6月の学習参観、移動教室、表現運動発表会、7月の農山村留学、10月の陸上大会、11月のそがっこフェスティバル、たんぼぼ学級げんぎキャンプ、各学年の校外学習等、主な行事は天気恵まれ、子供たちの大切な思い出になりました。

これらの思い出は、子供たちの成長に大きく寄与し、これからの生活の活力になるものです。

年末年始に家族が集まった際の話で写真や映像をもう一度見てみると、楽しかったことを思い出し、更なるエネルギーになることでしょう。

★どんな子にしたいのか

今年も二刀流で活躍した大谷翔平選手は、メジャーリーグ「MVP」に審査員30人の満票で輝きました。大谷選手がゲーム中にグラウンドに落ちているゴミを拾いポケットに入れる映像を見たことがありますが、ある野球少年の一人が、「ゴミを拾うことは福を拾うことなんだってー！」と教えてくれました。高校の野球部の監督の教えであることも知りました。

私は、今年度の目標を「労をいとわず働く そがっこ」を沢山増やしたいと立てました。まずは率先垂範として、正門で子供たちの登校を出迎え、大谷選手の高校時代の監督のように、心に響く言葉を持ってたらいなと思いながらゴミを拾っています。すると「校長先生！ゴミ拾いご苦労様です。」「いつもありがとうございます。」と声をかけてくれる子が現れました。とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。「自分の気持ちを自然に伝えられる子」は素敵な子供だと思います。ゴミを捨てない子、ゴミを拾う子、そのようなそがっこを育てていきたいと思っています。

★今の蘇我小で大切なことは何か

「私は私のままでいい」という自己肯定感にあふれ、友達や周りの人に感謝する子供を育てることであると考えています。一方、「今の私を直したい、変えたい」と思う心も大切です。そのために私たちがすべきことは、良いことに対して「頑張ったね!」「すごいね!」という言葉をかけ、「あなたは愛されている」というメッセージを送り続けることだと考えます。もちろん何でも許されるものではなく「ならぬものはならぬ」の精神は必要です。

今、改めて感じていることは、子供たちを真ん中に置いて一人一人の「思い」をくみ取った教育を保護者、地域の皆様と共に築いていくことです。

結びに令和5年が穏やかに暮れ、新たな令和6年が希望に満ちた年になるようお祈りいたします。

校長